



# 石巻西高実況中継

～学校の情報や生徒の様子をリアルタイムで家庭に届けます～

平成29年12月11日 第61号

発行者：校長 伊藤 俊

## ～東北大学大学院第9回シンポジウム～ ～高校生・大学生が見つめる被災地の現在～



12月9日(土)東北大学大学院主催第9回シンポジウムが川内の総合講義棟で開催され、本校2年生の高橋ころろさん、石井文乃さん、阿部輝さん、1年生の甲谷直子さん、小山愛さんが参加し国際高校生フォーラム、志教育推進校としての地域貢献、防災体験学習等これまでの実践の様子をポスターセッションしてきました。参加したのは岩手から大船渡高、一関第一

### 〔2年生〕

中高、福島から磐城桜ヶ丘高、宮城から仙台白百合高、気仙沼高そして本校の6校が参加し、日々の防災活動等の取組から見える震災後の東北の姿、活動を通じて学んだことや課題について発表、ポスターセッション、討議を行いました。5人は西高の防災大使として堂々の発表でした。中でも本校の国際高校生フォーラムは単独の高校としては被災地初の取組として、高い評価を得ました。「表現させる授業」「自主的な特別活動」「国際理解・貢献・防災交流活動」の西高3本の矢は的を射しました。

### 〔1年生〕

○1年2組 甲谷直子さん：同じ高校生でも Google でアンケートを実施したり、自ら新たな特産品の開発を行っていて「やろうと思えばなんだってできるんだ!」という高校生の可能性を強く感じました。また、興味を持ってから深掘りをするかしないかで知識の得られる量が全く違うことを学ぶことができました。大学生の方々は高校生とはまた違った視点からの発表が多くとても勉強になりました。今回のシンポジウムはとても貴重な体験になりました。お声がけいただいた先生方や友達に感謝したいと思います。

○1年2組 小山愛さん：ポスター発表はとても緊張しましたが、西高の国際交流について色々な方々に伝えることができ良かったと思います。他校の発表はとても分かりやすくしっかりとした内容でもとても同じ高校生とは思えない発表の数々で、刺激になりました。また、大学生のプレゼンテーションも見せていただき、学生が震災復興のために様々な活動を行っていることが分かりました。今回の体験を通して人と人とのつながりの大切さや次世代の私たちが新たな価値観を持ち、震災復興に携わっていくことが大事だと実感しました。とても良い経験になりました。ご指導、引率いただいた湯口先生、藤咲先生ありがとうございました。

## ～早稲田大学野球部交流～

## ～震災復興～



〔早稲田大学野球部の方々と本校野球部〕

「ミニビブリオバトル決勝大会」

～12月8日(金)1学年ロングホームルームにて～

【チャンプ本に選ばれた優勝者から喜びの声をお届けします】

○1年2組 伊藤瑞華さん：自分の好きな本をみんなに紹介して読んでみたい!!と、思ってくれてうれしかったです!優勝できてよかったです。ビリギャル並に、勉強頑張ります!!

○1年2組 菅原佳奈さん：今まで、ビブリオバトルには興味がありませんでしたが、今回、自分のお薦めの本を紹介する楽しさを知ることができました。発表しているのを聞いているのも自分のためになると思うと、有意義でした。

○1年3組 佐藤杏香さん：自分のおすすめの本を発表して、伝えることができよかったです。まさか、優勝(?)するとは思わなかったの、うれしかったです。

○1年4組 魚住海斗さん：とても緊張しましたが、本の良さが伝わったのでよかったです。まさか優勝できるとは思わなかったの、うれしいです。

○1年5組 杉山響輝さん：賞品のリンゴがもらえて、優勝できてうれしく思っています。

※運営を担当してくれた、LHR委員と図書委員のみなさん、ありがとうございました。